

## 平成27年度 物療校友会総会議事録

開催日時：平成28年6月25日（土）15：00～16：30

開催場所：難波御堂筋ホール

- 一. 開会の辞 西副会長（平成17年卒）
- 二. 会長挨拶 辻 清文（昭和47年卒）
- 三. 来賓紹介 的場 徹（大阪物療大学同窓会会長）  
八島洋介（ ” 副会長 ）  
橋本真明（ ” 学年幹事）
- 四. 来賓挨拶 的場 徹（大阪物療大学同窓会会長）
- 五. 総会役員

資格審査委員 中村 朗子（平成19年卒）

総会運営委員 谷端 綾子（平成23年卒）

議長 川畑 淳（昭和60年卒）

書記 喜田真一郎（平成23年卒）

議事録署名人 高田 勝巳（昭和62年卒）の選出。

審議を行う前に資格審査委員中村氏より総会成立の旨説明。

15時時点の出席者数22名、委任状170通、合計192名。

平成28年6月14日現在の有効会員数1,568名、1/20の会員数78名。

会則第21条に基づき、本総会は成立していることが報告された。

総会運営委員谷端氏より本日の議事進行の予定時間について説明があった。

### 議 事

1. 平成27年度事業報告について深瀬副会長より説明。
2. 平成27年度決算報告について北村副会長より説明。
3. 平成27年度監査報告について、山田監事・芝本監事より報告。

議事1～2について以下の質問があった。

- ① 柏木秀樹氏（昭和50年卒）より、前年度の総会で出された予算案について、収入が減少している中で少しでも予算の削減、収入増につながる事業の展開を要望したがその点についてどうなっているか？
- ② 小川利政氏（昭和46年卒）より、各支部との連絡、例えば総会前に案内をしているか？ホームページ上で総会の案内をしているか？理学作業部会の第2回研修会は何故開催できなかったのか？
- ③ 岡崎泰三氏（昭和62年卒）より、支出が収入を上回っている。支出を減らす努力をしてほしい。

辻会長より答弁

- ① 全体で40万円の予算削減を行った。事務員の出勤回数も週2回に減らし、役員会もメール等での簡略化を行い、出来る限りの努力をしている。また寄付金を募ることで収入増に繋がると考えている。
- ② 各支部への連絡は出来ていない。大学OB会との一本化に目を向けていた。また今回の総会の案内をホームページ上に案内出来ていなかった。(28年度事業計画の当該箇所削除)  
(深瀬副会長より) 理学作業部会の研修会は日程が合わず、また大学化により距離が離れてしまったことも要因である。
- ③ 山田監事より、数字で見ればその通りであるが、予算の無い中で、大学同窓会と1つになろうと頑張っている。なんとかつないでいるこの状況をご理解いただきたい。

以上の質疑応答の後、議長が1～2号議案の承認を諮り、賛成多数で承認された。

4. 平成28年度事業計画(案)について深瀬副会長より説明。

5. 平成28年度予算(案)について北村副会長より説明。

議事4～5について以下の質問があった。

- ① 小川利政氏(昭和46年卒)より、事業部の大学同窓会との共同開催イベントは決定事項か? 組織部の昨年の支出は0円なのに、今年度は予算を計上するのか?
- ② 柏木秀樹氏(昭和50年卒)より、各支部と連携を図るにしても執行部の体制が変わらなければ状況は変わらないのでは?
- ③ 岡崎泰三氏(昭和62年卒)より、また前年度と同じような予算を組んでいるが本当に必要か?

答弁

- ① (西副会長より) イベントは決定ではなく検討している段階。  
(辻会長より) 各支部には是非活動してほしいとの思いでの予算である。
- ② 確かにその通りかも知れませんが、体制を整えたいと考えている。
- ③ 予算は組んでおかなければ活動できない。校友会として活動できることを行っていきたい。

以上の質疑応答の後、議長が4～5号議案の承認を諮り、賛成多数で承認された。

以上をもって全ての議事が終了し、16時30分に閉会となった。

以上

議事録作成日 平成28年6月29日

議事録作成者 喜田 真一郎

議事録署名人 高田 勝巳 ⑨